



日本聖公会
大阪教区教務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
教務局長 司祭 原田光雄

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 office.osaka@nsk.org

第431号 2013年6月2日発行

すると、一同は聖霊に満たされ、霊が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話しました。(使徒言行録2章4節)

「私は聖霊の導きがあったということを確認しています。実りある合宿でした」という旨のメールを、海外から所属教会宛てに出したことをおぼろげながら覚えていますが、現地のパソコンから送ったので



聖霊が立ち上がらせてくださる

執事 クリストファー 奥村 貴充

日本語が使えず、すべてローマ字でした。日本語入力ができるパソコンは何とありがたいことでしょうか。

さて、思い起こせば2007年の夏、台湾の聖ヨハネ科学校技術大学で青年の合宿があるということ、それに教区から参加いたしました。台湾からの参加者40名、香港からの参加者40名の青年たち、そんな合宿に青年というか中年

にさしかかろうとしている日本人が1人という、まさに試練とでもいうべき環境でした。さらに香港から来ていたバプテスト神学校のチューター

と相部屋で過ごすというものであったので、語学もろくにできない私は、最初は大海の中に放り込まれたような思いがしたものでした。そういうわけで、つくづく住み慣れた生活がどんなにいいものか改めて

るフィールドワークや自然と触れ合うプログラム、聖書を題材としたゲームなどをしていくうちに参加者と打ち解けていくことができました。

最終の夜、テゼの祈りをするとこの機会がありました。数多くのろうそくに火を灯し、短い歌詞の聖歌を何回も歌っていくのを特徴とする礼拝です。テゼの歌は日本でもよく歌われ、また日本聖公会聖歌

集にも後ろのほうに収録されているので「あつ、この歌や!」というのがすぐ分かります。香港から来ている人は広東語で、台湾の人は北京語で、そして私は日本語で歌いました。その時、私は聖霊がその場にいて、一同とともにおられるということを感じました。

そして最初は困難だと思えた合宿もこうして最後まで神

さまが導いて下さるといふこと、そしてそれぞれが違う言葉で歌っていても、一つになつて賛美できるということの大きな恵みに気づかされたのでした。まさに引用した使徒言行録の聖句を体感できるような出来事で、「あの聖句はこういうことなんだな」と感じたものでした。これは神学校に入学する前年のことでしたので、内心これからどうしようかと思っていた自分にとつて、この経験は背中を後押しさせるようなものでした。

私たちはそれぞれが課題を背負いながら生活をしていきます。しかし、どんなに困難にぶつかっていても、祈りによつて、聖霊の導きのもと解決への道が必ず備えられているということ。そして聖霊に満たされることによって、こんな自分でも神さまのお働きのために立ち上がっていただけるのだということを感じたい次第です。

(おくむら たかみつ・聖贖主教会牧師補、博愛社チャプレン補)

た合宿もこうして最後まで神

大阪教区に聖職が増し加えられる

ヤコブ 義平雅夫 聖職候補生が執事按手

聖霊降臨日を翌日に控えた5月18日(土)午前10時30分から、ヤコブ義平雅夫・聖職候補生の執事按手式が大阪教区主教座聖堂(川口基督教会)で行われた。五月晴れの好天にも恵まれて約170人の会衆が集い、新たに聖職者が増し加えられる大きな恵みへの感謝の中、盛大な礼拝をお捧げした。



大西主教の左が義平執事

大西修主教の司式により礼拝が進められ「聖書のみ言葉」のあと、米国聖公会ハワイ教

区の上田憲明司祭が説教。「私は執事を20年務めたベテラン」とユーモアの自己紹介のあと、「自分を過大にも過小にも評価してはならない。本当の謙遜は、自分があるがままの姿をみつめることだ。執事は奉仕することが使命だが、喜びつつ自分の全体でそれを体現する人でなければならぬ」と語られた。

ニケヤ信経のあと、志願者・義平雅夫聖職候補生の「推薦」が行われ、磯崎久司祭と信徒・真庭功さん(東豊中聖ミカエル教会)が推薦。大西主教が会衆に向かい「志願者の按手への同意」を問い、会衆の「支持」によって「志願者の試問」に移り、「会衆の祈り」のあと「執事聖別」に。正服をまとった義平志願者が、聖職の方々に囲まれる中、大西主教の前に跪き、按手を受け、ここに新しい「執事」が誕生した。執事の権威のしるしとして聖書を手渡されたあと聖餐

式に移り、式典は喜びと感謝のうちに続いた。式後は会館3階で祝会に移り、大西主教をはじめ来賓の方々の祝辞が続ぎ、最後に義

第7回ペンテコステ・ヴィジル(聖霊降臨日前夕の礼拝)

日本福音ルーテル大阪教会に諸教派105人が参集

平執事が挨拶に立ち、「今朝は、まだ執事にもなっていないのにラウンドカラーをしていいのかと妻に言われて夫婦喧嘩」との告白に一同爆笑。厳肅な礼拝に始まり、いっぱいの笑いで終わった1日だった。なお信施153,732円は聖ルカ教会礼拝堂の整備のために献げられた。

義平雅夫執事の略歴
関西学院大学院神学研究科 終了。聖路加病院で臨床牧会訓練。松山ベテル病院チャプレン、聖ヨハネ学園事務局長、日本基督教団教師を経て聖公会守口復活教会に転籍。ポプラ社などから童話の著作出版。(編集部)

第7回ペンテコステ・ヴィジル(聖霊降臨日 前夕の礼拝)は5月18日(土)午後4時半から、日本福音ルーテル大阪教会で行われ、教派を超えた105人が集った。150余人が集った昨年とは異なり、少しさびしい礼拝だったが、聖公会の教会と同じような造りの近代的な礼拝堂に、同教会を始め、カトリック、日本基督教団、日本聖公会に加え、救世軍などの新しい兄弟の参加が目立ち、エキユメニカルな諸教会と信徒の交わりと一致が次第に具体化されていることが感じられた。

司式団は聖公会の内田望司祭をはじめ、日本福音ルーテル、日本基督教団の牧師の3師で構成され、カトリック大阪大司教区の吉岡秀紀司祭が説教された。礼拝は日本福音ルーテル教会の様式で行われたが、式文やチャントが聖公会の様式に近く、同じ思いで礼拝することが出来、嬉しいことだった。

また吉岡司祭が説教で、「過去のキリスト者の対立を過ぎ去ったものとせず、人間の弱さを認めて向き合い、イエスを救い主として信じる者として信仰を明らかにしなければならぬ」として、キリスト者の一致を強調され、この日の礼拝を豊かなものとされた。礼拝の後は、一同茶菓の席に移り、教派を超えた「聖徒の交わり」を深めることが出来、大きな恵みであった。なお席上献金96,092円は「東日本大震災あしなが育英募金」に献げられた。

(注)「ペンテコステ」はギリシャ語で「50番」の意味。キリストの復活から50日目を表したものの。「ヴィジル」は「夕の祈り」のこと。

(編集部)

昇天日礼拝・教区婦人会総会

ベタニアのマリア 瓶子 佐枝子

初夏を思わせるような暖かい五月晴れの5月9日(木)、大阪教区婦人会は大阪聖ヨハネ教会に於いて昇天日礼拝を守りました。

説教は林正樹司祭(大阪聖パウロ教会牧師)がお受け下さいました。

昇天日の由来とイエス様の昇天によって復活のみわざが

完成されたこと、復活、昇天、聖霊降臨を一つの出来事として捉え、これが神の国のすべ

ての出発点であり到達点であること、父なる神のみわざが

成就し、天に帰ったイエス・キリストに成り代わって働く

聖霊が与えられ、三位一体の形が明らかにされたことなどを説いてくださいました。ま

た、イエスは昇天される直前に「全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ」と弟子たちに話され、この普遍的な言葉は、



説教壇に立たれた林司祭(左)

閉鎖的で選民意識の高いユダヤ人にとって衝撃でしたが、イエス様の言葉と行動が常にただ愛のためであったことを体感した弟子たちは、確かな希望と愛を伝えるために世界に向けて宣教を始めたことなどお話しくださいました。

午後からは教区婦人会の総会が開催されました。議事は滞りなくスムーズに進み、意見交換も忌憚のない、和気藹々とした温かい意見が交換されました。

昼食やお菓子のご用意などヨハネ教会と近隣教会の婦人

の方々が御準備下さり、互いに助け合い交わりあう教区婦人会の形を見ることができ、温かいものを感じることができた一日でした。

当日の礼拝出席者は187名、信施金175,647円は「東北教区主教座聖堂建築のため」、また募金50,031円は南相馬「原発事故から命と環境を守る会」に送られました。

(へいし さえこ・守口復活 教会信徒)

世の光としての人生



毎度ばかりばかしい、とは言ってもなかなか

深い次のなぞなぞにひとつチャレンジしてみてください。「成人式、結婚式、お葬式、この三つの中で、いちばん光り輝いているのはどの式で

しょうか？」正解はお葬式です。なぜですか？それは、お葬式には艶「通夜」があるからです。お解りになりましたか。ハイ、お粗末でしたと一笑に付してしまにはもつたいないものを、この話から学びました。

安をもって迎える成人式、二人で築き上げていく新しい人生の門出として迎える結婚式、この二つの式はいずれも共に将来に向かってきらきらと光り輝いています。それは神様からいただいた掛け替えのない命を喜び、感謝して受け入れ、より豊かな人生を送っていく契機にもなります。

一方、お葬式は成人式、結婚式とは明らかに異なった輝きを感じさせてくれます。その輝きは決して華やかなものではなく、どこかいぶし銀のような艶のある輝きです。お葬式(死)は成人式、結婚式を迎えることになかった人にも必ず訪れます。

その意味で、人生における死が厳粛な事実であることを、誰もが受け入れなければならぬ時でもあります。その現実の前に立つ時、故人が生前残していた生きざまの一つ一つが、神様の光によって照らし出され、聖められ、世の光とされていることを、参列している人々に伝え、神様の恵みの素晴らしさを実感させるのです。

教区成立90周年のこの年、あらためて信仰の先達に思いを馳せたいものです。(主教サムエル 大西 修)



大阪教区 90周年を迎えて

2

教区50周年に「聖地旅行」

ガリラヤ湖で大西司祭が洗礼司式

司祭 ヨハネ 山根 貞夫



1923年(大正12年)大阪は東京と共に邦人主教の司牧による「教区」となりました。

それから数えて半世紀、教区成立50周年記念を迎えたのが1973年(昭和48年)でした。大阪と東京両教区で相談をして「聖地巡礼」を計画し

他教区にも呼びかけ、約45名位の参加者があり、私が団長を命ぜられ希望と期待を胸に日本を出発しました。

最初に着いたのはギリシャのアテネ空港、早速市内見学のトップは有名なアテネ神殿でした。これは旧神殿の柱が残っているだけのものですが、ガイドさんは英語しかできないので私が通訳をする事になりました。その日は土曜日でしたからホテルの近くにあった聖公会を探し、牧師に会い、主日礼拝に巡礼団が参加することで了解をいただ

きました。此処ではコリント運河等を見学し、次の目的地イタリアに向かいました。

ローマではまず高速道路を一路アッジジに向かい、一日の旅でしたが黙想もでき、あちこちの見学を楽しみました。ローマではバチカン市国を訪れ教皇様のお話を伺う機会を与えられました。教皇様は英語で日本聖公会からの巡礼団にも触れての言葉がありました。

これ聞いていた一人の英国婦人が後で私にお手紙を下さり、この婦人は芦屋の聖使女学院におられたミス・ダブルデーだったのです。幼いころ可愛がっていた先生でしたが、何分大勢の中で会うことは出来ませんでした。

ローマを後に次の目的地イストラエルの空港に着きました。税関の調査がかなり厳しか

つたと記憶しています。此処は各地からの巡礼者が来ていましたが、私たちはイスラエルで勉強している日本青年にガイド役を務めていただきました。この青年はユダヤ教徒でしたがよく説明をし、祈りの時間、黙想の時も計画の中に入れていただき感謝でした。

多くの教会、今も残されている遺跡を巡り歩きましたが、中でもガリラヤ湖畔のホテルに宿泊したのが一番思い出に残っています。一人の若い司祭が私のところに来て「実は中部教区から水藤司祭とその2歳上の叔父が参加しているが、叔父は教会にはよく礼拝に出ているが未受洗。この叔父さんがこの機会にガリラヤ湖で洗礼を受けたいと希望しているのですが、如何でしょう?」と尋ねるので「それは素晴らしい、ぜひ皆さんにも

呼びかけて洗礼式を行いなさい」と答えました。洗礼式の朝「ガリラヤの海 山みどりに」を皆で賛美し洗礼式は行われしました。お二人とも今は故人ですが、この叔父さまは熱心に信仰生活を続け、主のもとに召されたということを知りました。

聖地巡礼の後には「おまけ」がついてスペインのマドリドに一泊し見学、更に今問題になっているイランのテヘランでも一泊、回教寺院や回教

“主を仰ぎ見て 光をうけよう” 大阪教区成立90周年 記念礼拝

と き：2013年11月4日(月・振替休日) 午前10時30分より
と ころ：プール学院中高勝山キャンパス メアリーズホール
司式・説教：主教 サムエル 大西 修 師父

皆さんが集い、教区全体で感謝と喜びをもって主を賛美しましょう。当日は22教会および教区に関係する教育機関、諸施設の皆さんも出席されます。また、近隣の教区の皆さまにもご案内を申し上げます。100周年に向けて大いなる出発の日となりますように。

- 午後プログラム
◇各教会のパネル展、ミニバザー 於：カフェテリアほか
◇音楽のつどい(プール学院中高各クラブによる演奏) 於：アカデミックコート

教区聖歌隊 メンバー募集!!
多くの方のご参加をお待ちしております。申し込み方法、詳細については各教会に配布しているチラシをご覧ください。なお、初回合同練習は6月29日(土)午後3時~5時(大阪聖パウロ教会)です。

神学校を訪問の後、無事大阪に帰ってまいりました。

先ほどのガリラヤ湖での洗礼式の箇所を司式者(若い司祭)の名前を書きませんでした。が実は現大阪教区・大西修主教さんでした。40年前の事ですが、大阪教区が90年記念を迎えるに際し、神様のご意思が働いていたのではないのでしょうか。

(やまね さだお・退職司祭、特別養護老人ホーム「愛の園」チャプレン)

特別寄稿

パレスチナ・ガザ地区 — 子どもの栄養失調予防の取り組み

(特活) 日本国際ボランティアセンター (JVC) 金子 由佳

長年にわたり、当団体のパレスチナ・ガザ事業へのご理解・ご支援を頂き誠にありがとうございます。2003年から始まったガザ地区の子どもたちを対象にした栄養・保健支援事業は今年で10年目を迎え、2012年からは、栄養補助食を配布していた事業形態から、地域全体で子どもの栄養失調を事前に防ぐ「栄養失調予防事業」へと移行し、今年度からは新しい地域へと事業地を拡大しています。現

事業では、対象地域で栄養に関する知識を身に付けてもらえるように女性ボランティアを育成しています。そこで育成されたボランティアさんたちは、子どもを持つ家庭を訪問し、一人一人のお母さんにカウンセリングを行ったり、地域の女性グループと調理実習を行ったりして、栄養に関する知識をより多くの住民に広げています。本事業の最大の特徴は、このように地域レ

ベルで栄養・保健に関する知識の底上げを行うことを通じて、子どもの栄養失調を予防することを目指している点にあり、地域の社会扶助の拡大、持続性、自発性の視点からも大変意義深い内容になっています。

ガザに滞在していると、人々のつながりが有効に機能していることに気が付きます。何か問題がおきれば口伝えでそれが広がり、人々が丸となってそれを解決しようとする。日本では消えつつあ



世界の窓

る「人を大切にしたい」という気持ちに共感し、JVCは

◎嵐に襲われたガナ北部に折りと支援を

3月から4月にかけて、アフリカのガナ北部地域を嵐が数回襲

い、その被災エリアをガナ政府が公表した。それによると嵐によって、5人の命が奪われ多くの負傷者が数えられている。また、嵐による洪水によって多くの家屋や田畑が浸水したり水没したりするなど、2,500人以上の人々に多大な損失を与えている。被災したエリアでは英国教会系の12の学校、2つの医療施設、4つの教会の建物が使用できなくなるほどのダメージを受け、中には屋根が抜け落ちたところもある。元々貧困にあえいでいる地域にこのような自然災害が発生したこと

協働している地域NGOが作り出した本事業を支援するに至りました。政治理由で封鎖の継続が続き、人やモノの行き来が制限されている、あるいは度々空爆されるガザでは、人々のネットワークが生きる

(かねこ ゆか)

もあり、復興の目はまったくたっていない。甚大な被害を受けたガナ部のタマル教会主教ヤコブ・アヤエボ師父は、キリストにある兄弟姉妹に対して、祈りと経済支援を訴えている。この被災地の情報と支援方法は次のホームページに掲載されているのでご参照いただきたい。
(http://bit.ly/17LbXc)
(Anglican Communion News Service: May 6, 2013)

◎スーダン聖公会総主教が国家和解委員会委員長に指名される

南スーダンのシルバ・キイル大統領は、40年にも及ぶ内戦によって傷ついた新しい国民たちの心を癒す試みとして、国家和解委員会を立ち上げ、その長にスーダン聖公会のジ

ための最大の武器になります。そんな人々の姿勢に寄り添って、JVCは引き続きガザの人々を応援したいと考えています。

ユバ・ダニエル・デング総主教を任命した。デング総主教は、この委員会の立ち上げについて4年から5年にわたって国家の統合と和解のためのキャンペーンが行われると説明し、さらに和解を指導する役割はキリスト教会にとって新しいものではなく、元来、キリスト者は和解をもたらす使者であると語っている。また、教会は政府とは別の独立した組織であり、それゆえに、和解を導くことができる正しい組織として働くことが可能であると述べている。そして、キリストがなさったのが、神と人間の和解であって、その力によって教会は世界が平和になることを熱望していると吐露している。

(Anglican Communion News Service: May 1, 2013)



聖霊感じる子どもたち

「春キッズ」フェスティバル

フランシスカ 内海 理紗子

4月29日に、大阪教区キッズフェスティバルが主教座聖堂（川口基督教会）で行われました。参加者は子ども58人を含む総勢141人でした。今年から「春キッズ」「夏キッズ」と題し、年2回行われることになりました。

今回の春キッズで、私はスタッフとして小学4年生のサブリダーを担当しました。この日は年齢別に分かれてグ

ループ活動を行いました。その内容とは、大阪教区にある

22の教会のパネルを探すスタンプラリー、聖書にちなんだアトラクションコーナー、子ども達の言葉から賛美を作る賛美コーナーなどです。たくさんさんのイベントがあったため、教会内を歩き回る1日でした。しかし、子ども達は文句を言

が印象的でした。

グループ活動が終わった後は、全員で礼拝を献げました。礼拝の中で2階から聖霊に見立てた赤いリボンが降ってきました。そして子ども達一人一人に配っておいた紙に、それらのリボンを貼り付けました。各々の紙には、1文字の平仮名と数字が記されています

うことなく、楽しそうに「次はあっちに行こう」と自分の意見を出してたの

す。リーダーの指示で、子ども達全員が自分の持つ数字の順番に並びました。すると「今日はペンテコステ 聖霊降臨日 教会が生まれた日 ハッピーバースデー 教会おめでとう！」という文章が出来上がりました。

このような短い時間の中で、大勢の人と共に聖霊を感じることは滅多に出来ません。次の夏キッズでも、このような繋がりを大切にしたいと思えます。
(うつみ りさこ・川口基督教会信徒)

「夏キッズ」と青年の集い(仮)のお知らせ

大阪教区生涯学習委員会 青年プロジェクト

2005年から恒例となっていた大阪教区青少年キャンプは、今年から「夏キッズ」に移行することになりました。「夏キッズ」とは、グループ活動を通して交流を深め、一緒に礼拝を作り上げる喜びを味わうことを目的とした、夏のキッズフェスティバルです。

去る4月29日(月・祝)に開催された「春キッズ」では、各年代の子どもたちと青年がグループになってアトラクションを楽しんだり、お祈りを通して聖霊を感じたり、一緒に楽しい時間を過ごしました。次の「夏キッズ」でも子どもたちと青年と一緒に過ごしな

がら礼拝を作り上げていきます。さて、「夏キッズ」は7月15日(月・祝)に川口基督教会で開催されますが、それに先立って7月14日(日)の午後から青年たちが一泊する「青年の集い(仮)」を予定しています。また、「夏キッズ」

に向けてプログラムなどを考えるミーティングも行っています。この「夏キッズ」に向けてのプログラムを一緒に考えてくれる青年を募集しています。子どもたちとの楽しいプログラムを考え、また青年同士の交流を深めましょう。お問い合わせは石橋聖トマス教会 (TEL: 06-6854-8657 kyoukukids@gmail.com) まで、気軽にご連絡ください。

☆ 大阪聖パウロ教会 夕の礼拝のご案内 ☆

- ① 毎月：第1・3火曜日 18:30 夕の礼拝 (チャント使用)
♪ 礼拝後、セントポールズ・クワイア定期練習 (見学大歓迎!)
☆ 6月4日(火) スタート! (8月はお休み)
- ② 毎月：第2・4土曜日 16:00 夕の礼拝 (メッセージ付)
☆ 6月8日(土) スタート! (8月、1月・12月の第4週はお休み)

大阪聖パウロ教会 (大阪市北区茶屋町)
TEL. 06 (6371) 0170

教区の動き

常置委員会報告

4月11日(第6回定例)

録を添付して、大阪府に改正届けを行う。

Ⅲ. その他諸報告

I. 主教報告

*台湾聖公会「東北巡礼の旅」(台湾より13名、総勢20数名)の一行は被災地を訪ね、良い交流の時がもたれた。

*鍋島守一司祭夫妻は、神愛会「深和ホーム」へ引越された。

*管区聖職試験(司祭試験)の結果、奥村、千松、古澤3執事は、9月3～5日に行われる管区聖職試験を再受験の予定。

Ⅱ. 教務局長報告

*菟野の教区所有地売却準備が出来ていることを購入希望者に伝達、6月に管財委員が現地を訪問の上、速やかに契約を成立させたい。

*「宗教法人『日本聖公会大阪教区』規則」の改正に関して、第109(臨時)教区会議

*鍋島守一司祭退職に伴う担当業務後任について、「正義と平和」教区窓口↓古澤秀利執事。

社会宣教委員会委員長↓竹林徑一司祭、同委員会副委員長↓古澤秀利執事。

「大宗連」教区窓口↓竹林徑一司祭。

*教役者養老厚生基金委員会・財務委員会より諮問の鍋島守一司祭に対する退職金につき承認。

田宮紘執事の定年退職に際し、感謝金を贈呈することに同意。

*財務委員会より諮問の教区事務所職員給与につき妥当と判断。

5月13日(第7回定例)

I. 主教報告

*竹林徑一司祭は聖ヨハネ教会牧師館へ、上田憲明司祭は聖アンデレ教会牧師館へ、それぞれ引越された。

*日本聖公会第60(臨時)総会に於いて、次代沖繩教区主教に上原榮正司祭(三原聖ペテロ・聖パウロ教会牧師、常置委員長、56歳)が選出された。

*東京教区・エルサレム教区協働委員会主催の「新しい聖地旅行」聖書にちなんだ遺跡と主にある兄弟姉妹を訪ねる旅(9月10～20日)に若手聖職の海外研修として、奥村・千松・古澤3執事を参加させる。

公会、リボンカレッジの副校長マーク・チャップマン氏を招く予定。

Ⅱ. その他諸報告

*ウイリアムス神学館は本年創立65周年に当たり、10月7日に記念礼拝を行う。英国聖公会、リボンカレッジの副校長マーク・チャップマン氏を招く予定。

*京都教区に於いて、「信徒の集い」を9月14～15日に開催の予定。

大阪教区との「協働・合併」をテーマにしており、大阪教区からの参加者を募っている。

Ⅲ. 協議事項

*8月19～21日、京都で開催される日本聖公会女性会議に代表3名を派遣する件につき、人選を進めることを確認。

*教区事務所職員、米虫克次氏の後任者の選任作業を進めることを確認。

*大阪教区創立記念日に近い

6月2日の信施金を「教区創立90周年事業のため」とする。また、創立記念日6月5日を覚えて代祷に加えることを確認。

*教区住宅(4階部分)を含む大阪城南キリスト教会礼拝堂の屋根・ベランダ補修(防水)工事(教区持分は約3分の1)が必要となり、見積書を検討の結果、同教会の意向と合わせて、実施することに同意。(以上)

教会・施設の動き

尼崎聖ステパノ教会

○3月31日午後、譲り受けた卓球台を感謝し、プール学院高校・神戸松蔭高等学校を招いて、記念交流卓球大会が行われた。

西宮聖ペテロ教会

○第8回パイプオルガン・コンサート
6月29日(土)午後2時
演奏者は上野静江先生(神戸松蔭女子学院大学) 入場無料。午後4時より「夕の礼拝」も。

教区関係教役者

逝去者記念聖餐式

◇ 7月10日(水) 午前10時30分

於 主教座聖堂(川口基督教会)

- 説教者 ジョイ 千松 清美執事
 司 祭 ウォルター・J・エドモンズ (1889.7.1 英)
 伝道師 野村 志津 (1997.7.1)
 宣教師 エリザベス・メータ・ソフィー・ヒューボルト (1934.7.5 英)
 主 教 パウロ 久保淵 豊彦 (2006.7.12)
 主 教 アーサー・ウィリアム・プール (1885.7.14 英)
 宣教師 オクタビア・ジュリアス (1942.7.15 英)
 宣教師 エミリー・サンドル・フォックス (1942.7.20 英)
 司 祭 ヨハネ 木川田 正毅 (1990.7.20)
 司 祭 堀江 議作 (1928.7.21)
 執 事 永田 保治郎 (1941.7.21)
 伝道師 中村 貞子 (1953.7.23)
 宣教師 エセル・アグネス・カーライル (1957.7.23 英)
 司 祭 西田 弥吉 (1945.7.24)
 宣教師 ジェーン・アン・スタベリー (1963.7.24 英)
 司 祭 サムエル 堀江 光児 (1990.7.25)
 主 教 マルコ 小池 俊男 (2011.7.28)
 宣教師 ロレッタ・レオナルド・ショウ (1940.7.29 英)

◇ 8月14日(水) 午前10時30分

於 主教座聖堂(川口基督教会)

- 説教者 ヤコブ 松平 功司祭
 主 教 エドワード・ピカステス (1897.8.5 英)
 主 教 ヘンリー・セントジョージ・タッカー (1959.8.8 米)
 宣教師 アグネス・S・ウィリアムス (1970.8.9 英)
 司 祭 ヨハネ 桜井 猶次郎 (1945.8.10)
 主 教 ペテロ 藤本 寿作 (1969.8.10)
 宣教師 シルビア・ルイス・ケンドール・ブッシュ (1966.8.11 英)
 司 祭 関 翔 (1953.8.18)
 宣教師 キャサリン・アリス・サルヴァイン・トリストラム (1948.8.24 英)
 伝道師 ルツ 中村 光尾 (1978.8.30)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分から、主教座聖堂(川口基督教会)で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。



祝受洗

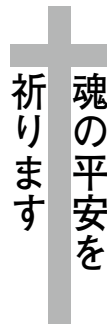
- 庄内キリスト教会
マリア 木村 希泉
フランシスコ 木村 信
- 尼崎聖ステパノ教会
ラファエル 尾崎 深雪
- 守口復活教会
マルタ 宮本 聖子

- 高槻聖マリヤ教会
プリスカ 古澤 恵真
ヨハネ 村上 秀夫
- 大阪城南キリスト教会
パウロ 中島 光清
- 石橋聖トマス教会
パウロ 山崎 諒
- ヨセフ マリア 井脇 正勝
ヨセフ 井脇 紀久江



祝受洗

- 高槻聖マリヤ教会
ヨハネ 村上 秀夫
- 芦屋聖マルコ教会
ヨセフ 関谷 定
- セシリヤ 伊藤 隆子
- ミリアム 北林 清子



魂の平安を祈ります

- 庄内キリスト教会
エリサベツ 吉村 元位
- 守口復活教会
マルタ 宮本 聖子
- 川口基督教会
ウィリアムス 側垣 雄二
- 堺聖テモテ教会
プリスキラ 福田 央子
- 大阪聖パウロ教会
中村 敬子

編集後記

聖霊降臨の出来事によりイエス・キリストの弁護者である聖霊に守られ、無事に教区報第431号をお届けできることを感謝します。ホームペー

ージ担当の広報委員として古澤秀利執事が新たに加わりました。感謝。(広報委員一同)

教区報第430号の訂正

4月7日発行の教区報第430号における間違いを訂正し、お詫びします。

- ※5頁4段目24行目「在日韓学習会」
- (誤) 侵攻復興運動 ↓
- (正) 信仰復興運動
- ※9頁4段目3行目「祝受洗」
- 芦屋聖マルコ教会
- (誤) 馬場 陽子 ↓
- (正) 馬場 陽子
- ※10頁5段目29行目「編集後記」
- (誤) 田宮紘執事と鍋島守一司祭が3月末で退職 ↓
- (正) 田宮紘執事は3月末で、鍋島守一司祭は4月末で退職